

大分県・筋湯温泉

やまあいのやど きやすや

山あいの宿 喜安屋

Ryokan KIYASU-YA

〒879-4912 大分県玖珠郡九重町筋湯 温泉527番地
TEL:0973-79-3341



九重の大自然に溶け込む
露天風呂付き離れの湯宿

■ 宿データ

- 1泊2食料金 ¥16,000～(税別)
- 1泊朝食料金 設定なし
- 素泊り 設定なし 一人泊 設定なし
- 宿泊時の貸切風呂料金 無料
- 日帰り 男女別の大浴場と露天風呂
- 日帰り貸切温泉 宿泊者のみ

■ 温泉成分表

湯の色 無色透明 湯の香り 無臭

溶存物質 (ガス性のものを除く成分①+②+③の合計) 1,421mg/kg

泉温 76.9℃ pH値 7.1 (中性)

湧出量 ー/分 この宿の使用量 約100リットル/分

一人あたりの温泉利用量(湧出量/収容人数) 約3.3リットル/人 ※最大収容人数 30人

温泉の成分 (源泉 1kg 中に含有する分量)

※源泉かけ流し(消費なし)で、大人が清潔な状態で温泉に入浴するために必要な湯量は一人当たり0.545リットル/分以上(甘露寺泰雄氏著「温泉資源の活用と保全策」より引用)

陽イオン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	陰イオン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
リチウムイオン(Li ⁺)	2.2	0.32	1.55	フッ化物イオン(F ⁻)	1.1	0.06	0.30
ナトリウムイオン(Na ⁺)	426.00	18.53	89.78	塩化物イオン(Cl ⁻)	613	17.29	87.32
カリウムイオン(K ⁺)	58.70	1.50	7.27	臭化物イオン(Br ⁻)	1.8	0.02	0.10
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	0.60	0.05	0.24	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	0.6	0.01	0.05
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	4.00	0.20	0.97	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	105	2.19	11.06
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.3	0.03	0.15	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	0.2	0.00	0.00
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	0.2	0.01	0.05	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	1.9	0.03	0.15
				炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	12.2	0.20	1.01
計①	492	20.64	100.00	計②	735.8	19.8	100.0

非溶解成分	ミリグラム	ミリモル	溶解ガス成分	ミリグラム	ミリモル
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	157.0	0.00	遊離二酸化炭素(CO ₂)	3.1	0.00
メタホウ酸(HBO ₂)	37.1	0.00	遊離硫化水素(H ₂ S)	0.0	0.00
計③	194.1	0.00	計④	3.1	0.00

溶存物質総計(ガス成分を除く①+②+③の合計) 1,421mg/kg

成分総計(①+②+③+④の合計) 1,425mg/kg

その他微量成分	
カドミウム0.001mg/kg未満、総ヒ素0.006mg/kg、総水銀0.0005mg/kg未満、鉛イオン0.01mg/kg未満、銅イオン0.05mg/kg未満、フッ化物イオン1.1mg/kg、遊離炭酸3.1mg/kg	

※適応症・禁忌症に関して、平成26年7月改正の「鉱泉分析法指針」に準拠しています。宿よりデータを提供して頂きました。

この泉質ならではの浴用の適応症 (平成26年7月1日改定)

きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

浴用の一般的適応症 (平成26年7月1日改定)

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下、軽症高血圧、耐糖能異常、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状、病後回復期、疲労回復、健康増進

この泉質ならではの浴用の禁忌症 (平成26年7月1日改定)

皮膚、粘膜の過敏な人、特に光線過敏症の人、高齢者の皮膚乾燥症

浴用の一般的禁忌症 (平成26年7月改定)

病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

飲用の適応症

※飲用不可 ※保健所に飲用申請を不提出

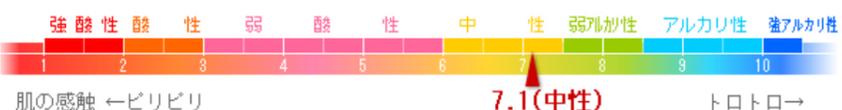
分析日

平成25年9月26日(公益社団法人 大分県薬剤師会)

温泉の言い伝え/その他

伝承による効能 肩こりなどの筋の凝り

■ 水素イオン濃度 (pHペーパー)



一言コメント ポカポカ湯めしにくい泉質。

泉質名: ナトリウム-塩化物温泉 (低張性 中性 高温泉)
(旧泉質名: 純食塩泉)

源泉率: 90 ~ 100%

湯の入替: 毎日

源泉の湧出状況: 筋湯温泉供給(株)から配湯

引湯方法: ー

源泉から湯舟までの距離: ー

温度の調整方法: 湯舟に注がれる湯量を調節

飲泉: 不可 ※保健所に飲用申請を不提出

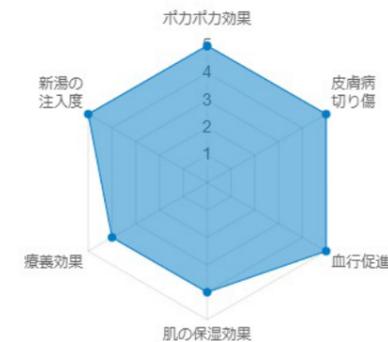
源泉かけ流し風呂: 全て

■ 源泉の利用状況

加水なし	加温なし	消毒なし	循環なし	入浴剤なし
△	○	○	○	○

※加水による温度・湯量調節あり

■ 温泉力 チャート (5段階評価)



◆ こんな人に最適

- 冷え性の方
- 乾燥肌の方
- 傷口を早く治したい方

■ 美肌の湯 4要素

該当数 1

※弱アルカリ性(pH7.5以上)の源泉も使用しているため「1」と認定。また、メタケイ酸が157mg/kg(基準値の3倍以上)あるので、これも美肌の湯(100mg以上)に認定される。

肌の美白効果	肌のなめらか効果	肌の蘇生効果	肌のつるすべ効果
硫黄泉	炭酸水素塩泉	硫酸塩泉	(弱)アルカリ性

◆ 温泉レポート (文・温泉&宿コンシェルジュ 大竹 仁一)

2種類の源泉を使用しているが、メインで使っているのは中性の「ナトリウム-塩化物温泉」。いわゆる「熱の湯」と称される温泉である。

成分に含まれる塩分が、肌の汗腺をパックする事により、汗による熱の放射をある程度ガードすることにより、湯上りのあとでも湯冷めしにくく、ポカポカするという事でこの名が付いた。

女性の方が多い冷え性に効く温泉という事でも知られている。

また、塩分は殺菌力があるので、「傷の湯」と称される場合も。

さらに、塩化物泉は血液の循環を促進させる働きや、痛みを和らげる鎮静効果もある。そして、注目すべきは、メタケイ酸の量。

これは、泉質名には反映されないが、いわゆる保湿効果のある成分で、1リットルあたり50mg以上あれば、温泉と認定されるもの。

つまり、それが基準値の3倍以上の157mgもあるわけだから、保湿効果は充分。したがって「美肌の湯」と言っていこう。

ただし、塩化物泉は、アレルギー体質で皮膚が弱い人や、虚弱体質で皮膚の抵抗力が衰えている人は、湯ただれを起こすことがあるので注意が必要。

この温泉を、「山あいの宿 喜安屋」は、毎分およそ100リットルを使用している。0.545リットル/分が、源泉かけ流しの最低限の湯量と言われているが、この宿の最大収容人数は30人なので、1人当たりの温泉利用量を計算すると、3.3リットル/分となる。

まさに、贅沢な湯量でもって、源泉100%かけ流しをしていることが数字を見るだけで分かる。

源泉温度は76.9℃。

温泉供給会社から引いても、この湯温ならば、湯舟でぬるくなることはない。pH値も7.1の弱アルカリ性よりの中性で、ツルツルとした肌ざわりでしっかりと馴染みやすい。

無色透明で無臭ながら、その実力は相当なもの。

ひとつ付け加えると、広い男女別の大浴場と露天風呂に関しては、冬季に気温が相当下がるので、もう一つの源泉である「弱アルカリ性単純温泉」(筋湯分湯組合から供給)を加えて調整しているとの事。こちらは、源泉温度94.3℃の高温。そして、pH7.6。

この「弱アルカリ性単純温泉」は古い角質層の新陳代謝を促進させるため、「四大美人泉質」の一つに数えられる。

保湿効果の高い「ナトリウム-塩化物温泉」と合わせることで、美肌効果をより期待できそう。